

第1章 総則

1、教育及び保育の基本と目標

幼保連携型認定こども園に関する法令とその内容については、ほとんどの保育者は理解している。

乳幼児期の教育及び保育は、人間形成の基礎を培う重要なものなので、職員会議や研修会等を設けて理解し、職員の必要な知識を深めていきたい。

2、特に配慮すべき項目

(1) 教育及び保育の配慮

登園時には体温を計り、健康観察、視診を行っている。

泣く子どもに対しては、安心できるように担任を呼ぶようにしている。

(2) 健康・安全支援

子どもの健康や安全については十分に配慮している。

全職員が災害時の対応や不審者対応については、避難訓練や不審者訓練を行い、意識を持てるようにしている。

(3) 食育

楽しく食事ができるように声かけや援助をしている。子どもに応じて、保護者に食べる量を知らせている。

(4) 障がい保育

障がいのある子どもの保育については、療育・医療機関などの専門機関から、必要に応じて助言を受け、子どもに合わせた個別支援計画を立てている。

保護者とは情報共有をし、信頼関係の構築に努めている。

第2章 子どもの発達

子どもの発達は概ね理解できている。子どもが主体的に活動できるような環境に配慮して保育している。

第3章 「ねらい」及び「内容」

1、保育内容「健康」

一人一人の子どもが明るくのびのび遊べるよう、いつも見守っている。

保育者が見守りながら手洗い・消毒等、生活に必要な習慣が身につくよう努めている。

2、保育内容「人間関係」

集団生活の中で、友だちと関わりながら気持ちを共感する機会を大切にしている。

自分で考えて行動できるように見守り、配慮している。

3、保育内容「環境」

園生活の中で、子どもが自然や身近な事象に関心を持つことができるように工夫し、気付けるように保育をしている。

4、保育内容「言葉」

絵本の読み聞かせを大切にしており、毎日読み聞かせの時間を作っている。

ゆったりと子どもの言葉を聞き、対応しやすい雰囲気づくりをしている。

5、保育内容「表現」

音楽あそびを通して言葉や体の動きを表現する楽しさに気づき、行事等で保護者に見せる。

子ども達が廃材を使って楽しく製作できるよう準備している。

第4章 保育の実施上の配慮事項

子どもの体調、安全面、衛生面には特に気を付けて保育している。

第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項

指導計画作成に当たっては「保育課程」「全体計画」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に基づいて作成している。

援助の仕方や日々の保育記録をきちんと書き込んでいる。

第6章 研修と自己評価

年間計画は、保育者のキャリアアップ研修を参考にして作成している。コロナ禍でオンラインでの研修が多くなっているが、保育誌から毎月情報や知識を得て保育・教育に邁進している。

第7章 子育て支援

子どものことに対して保護者の思いを話せるように、送迎時に言葉を交わすようにし、連絡帳等で情報交換をしている。

保育者の衛生管理

通勤時と保育時の服の着替えをして、保育中は爪や髪を清潔にし、保育に取り組んでいる。

清潔面では給食時にはエプロン、三角巾を着用して、園児の机を拭き消毒し、配膳の用意をする。感染予防の消毒や嘔吐などの処理の仕方など、嘔吐処理用バケツ、用品を部屋に用意して、マニュアルもすぐに確認できるように貼っており、正しく対処している。

乳児クラスでのオムツ交換は手袋を使用し、排泄時のかかわりや処理をした後は、必ず石鹸で手を洗い、消毒をしてから次の作業にかかっている。

人権感覚自己点検

一人ひとりの子どもを大切にしたい関わりをするように努めている。

一人ひとりの子どもに笑顔であいさつ、語りかけをする。

言葉使いに気を付け、断定的・固定的に子どもを見ないようにする。

保城さくらんぼこども園

1、教育及び保育の基本と目標	A	B	C
1、児童福祉法等、保育所に関する法令を読み、その内容を理解していますか	2	8	10
2、「保育所保育指針」を読み、その内容を理解していますか	3	7	10
3、乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解していますか	8	9	3
	21.9 13	40 24	38.3 23
2、特に配慮すべき項目（1）教育及び保育の配慮	A	B	C
4、登園時、子どもの健康観察を行っていますか	12	8	0
5、子ども一人一人に、分かりやすい温かな言葉で穏やかに話しかけていますか	6	12	2
6、登園時、泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまったりすることがないようにしていますか	10	9	1
	46.7 28	48.3 29	5 3
2、特に配慮すべき項目（2）健康・安全支援	A	B	C
7、園内で感染症が発生したとき、発生状況や予防対策などを保育者に知らせていますか	2	17	1
8、子どもの体調が悪くなったときに、保護者との連絡を取ったり、十分に様子を伝えたりするように心がけていますか	15	5	0
9、子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか	12	8	0
10、園生活での活動・発達の状況や家庭での十分な睡眠や健康的な生活リズムが身につくよう、保護者との連携に努めていますか	10	9	1
11、災害時や不審者が園内に侵入した際、どのように対応するのかを理解していますか。また、職員間で連携が取れるように話し合っていますか	5	10	5
12、災害時に使用する器具や設備(消火器や通報機器等)の場所や使用方法を知っていますか	8	11	1
	43.3 52	50 60	6.7 8
2、特に配慮すべき項目（3）食育	A	B	C
13、子どもが無理なく、楽しく食事ができるように声かけや援助をしていますか	8	12	0
14、その日の昼食の食べ具合などを必要に応じて保護者に知らせていますか	15	4	1
	59.5 23	40 16	2.5 1
2、特に配慮すべき項目（4）障がい保育 ※該当クラス担当のみ回答	A	B	C
15、障がいのある子どもの保育について、職員間で情報交換や話し合いの機会を持ったり、子どもに合わせた個別支援計画を立てていますか	2	9	0
16、療育・医療機関などの専門機関から、必要に応じて助言を求めたり受けたりしていますか（保護者を通して含む）	4	4	3
17、障がいのある子どもの保護者と日常的に話をする機会を設け、情報共有をしたり信頼関係の構築に努めたりしていますか	5	3	3
	33.3 11	48.5 16	18.2 6

60

60

120

40

30

第2章 子どもの発達	A	B	C
18、子どもの発達は豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか	12	8	0
19、子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して、保育していますか	8	12	0
20、子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか	5	12	3
21、子どもどうしでお互いの良さを感じ取れるように保育を配慮していますか	5	12	3
22、園生活になじみにくい子どもに対して、一人一人に応じた適切な援助及び環境構成を行っていますか	7	12	1
	37 ³⁷	56 ⁵⁶	7 ⁷
第3章「ねらい」及び「内容」	A	B	C
1、保育内容「健康」			
23、一人一人の子どもが明るくのびのび遊べるよう、いつも見守っていますか	15	5	0
24、健康的な生活リズムを身につけるよう、1日の保育の時間配分をしたり、家庭との連携を取ったりしていますか	8	11	1
25、食事の前や排泄後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身につくように保育していますか	9	10	1
26、生活に必要な習慣が身につくよう家庭との連携に努めていますか	8	11	1
	50 ⁴⁰	46.2 ³⁷	3.8 ³
2、保育内容「人間関係」	A	B	C
27、自分のことは自分でしようとする意欲を持てるよう、励ましたり見守ったりしていますか。また、達成感を味わえるように配慮していますか	13	7	0
28、友だちと積極的に関わりながら遊び、喜びや悲しみなどを共感する機会を大切にしていますか	11	9	0
29、良いことや悪ことがあることに気づき、考えながら行動できるように援助していますか	9	10	0
	55.9 ³³	44.1 ²⁶	0
3、保育内容「環境」	A	B	C
30、子どもが自然に観察したり触れたりする中で、その大きさ、楽しさ、不思議さなどに気づくように援助していますか	3	16	1
31、園生活の中で、自然や身近な事象に関心を持つことができるように、環境を工夫していますか	1	15	4
32、生活の中で数を数えたり、形を意識したりするなど、工夫して保育していますか	6	12	1
	16.9 ¹⁰	42.9 ⁴³	10.2 ⁶
4、保育内容「言葉」	A	B	C
33、子どもの発達や理解力、生活体験に合わせた言葉で保育していますか	8	11	1
34、ゆったりと子どもの言葉を聞き応答するなど、子どもが分からないことを尋ねたりしやすい雰囲気作りをしていますか	9	9	2
35、挨拶や「貸して」「いいよ」など、生活の中で必要な言葉を知らせ、その言葉を理解して使うことができるように、配慮していますか	13	7	0
36、紙芝居や絵本、素話などを通して、物語の楽しさや言葉の面白さに気づくよう心がけていますか	13	7	0
	53.8 ⁴³	42.5 ³⁴	3.8 ³

100-
人

80-
人

59

39

80

5、保育内容「表現」	A	B	C
37、歌ったり踊ったりして、表現の楽しさに気づくように援助していますか	17	3	0
38、感動したことなどを伝え合う機会を作ったり、豊かに表現できるよう援助したりしていますか	4	15	2
39、子どもたちが様々な音に触れ合う機会をつくり、音楽に親しみをもち楽しめるように工夫していますか	6	9	5
40、自分のイメージを言葉や体の動きなどで表現したり、演じて遊んだりして楽しめる機会を作っていますか	8	9	3
	43.2 35	44.4 36	12.3 10
第4章 保育の実施上の配慮事項	A	B	C
41、保育者として服装や身支度などに配慮し、自らの健康と清潔を心がけていますか	14	5	1
42、発育及び発達の状態をよく把握した上で、常に体の状態を細かく観察していますか	5	14	1
43、おむつ交換する際は、しっかり手洗いを行っていますか	14	3	0
44、一人一人の子どもの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、環境を整えていますか	7	13	0
45、床に誤飲しそうなものが落ちていないよう、十分注意を払っていますか	14	5	0
46、リズムを伴った触れ合い遊びを十分に取り入れたり、戸外遊びなどを通して体を適度に動かす遊びを楽しめるようにしていますか	12	7	1
47、子どもの健康状態の急変に対応できるよう、日頃から看護師や職員間で連携が取れていますか	2	10	8
48、基本的な生活習慣の習得については、子ども一人一人の発達過程に合わせ、無理なく行っていますか	4	15	1
49、子どもの手の届く範囲にあるものの安全性について、日頃からきちんと確認していますか	12	8	0
50、自分でやり遂げる喜びを感じたり、自信を持ったりできるよう、配慮していますか	12	8	0
51、進級などで保育者がかわる場合は、子どもが不安にならないように職員間で情報共有を十分にしていますか	5	13	2
	46.7 101	46.7 101	6.5 14
第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項※担任のみ回答	A	B	C
52、指導計画は、「保育課程」や「全体計画」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に基づいて作成していますか	4	8	1
53、指導計画には、保育の期間や子どもの生活経験、発達過程などを考慮して具体的なねらいと内容が設定されていますか	3	10	0
54、子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画に書き込まれていますか	4	8	1
55、入所時期には、生活のリズムや安全性に十分配慮して、指導計画を作成していますか	4	8	1
56、子ども一人一人の発達を理解し、指導計画に活かせるよう、日々の保育記録をきちんと取っていますか	6	7	0
57、子どもが楽しく食事できるように、食育の計画を作成していますか	4	7	2
58、保育の内容は、子どもの発達過程に合った活動や体験であると説明できますか	1	12	0
	28.6 26	65.9 60	5.5 5

81

216

91

第6章 研修と自己評価	A	B	C
59、園の保育理念や基本方針をきちんと理解していますか	5	12	3
60、自らの判断で、園の内外における研修に積極的に参加したり、本などで情報や知識をえようとしたりしていますか	2	10	8
61、自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽していますか	0	8	12
	11.7	50	38.7
	7	30	23
第7章 子育て支援	A	B	C
62、子育ての悩み等を安心して話せるように、送迎時に言葉を交わしたり、なかなか会えない保護者に対しては、連絡帳などで情報交換をしたりするようにしていますか	11	9	0
63、保護者からの相談内容などをあなた一人の問題にしないで、園全体で受けとめようとしていますか	10	9	1
64、地域の家庭を対象とする相談や遊び場の提供など（支援センターや一時保育事業等）、子育て支援のための園の取り組みを理解していますか	0	9	11
65、一人一人の子どもについて、虐待を見抜くことができるように配慮していますか	5	13	2
	32.5	50	19.5
	26	40	14
	はい	いいえ	
保育者の衛生管理	90.9	9.1	
	20	2	
人権感覚自己点検	81.8	18.2	
	18	4	

/ 60

/ 80

/ 72

/ 22

	A	B	C
1、教育及び保育の基本と目標	13	24	23
2、特に配慮すべき項目（1）教育及び保育の配慮	28	29	3
（2）健康・安全支援	52	60	8
（3）食育	23	16	1
（4）障がい保育	11	16	6
第2章 子どもの発達	37	56	7
第3章「ねらい」及び「内容」1、保育内容「健康」	40	37	3
2、保育内容「人間関係」	33	26	0
3、保育内容「環境」	10	43	6
4、保育内容「言葉」	43	34	3
5、保育内容「表現」	35	36	10
第4章 保育の実施上の配慮事項	101	101	14
第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項	26	60	5
第6章 研修と自己評価	7	30	23
第7章 子育て支援	26	40	14
保育者の衛生管理	20	2	
人権感覚自己点検	18	4	

緑城こども園 「保育者の自己評価のためのチェックリスト」 令和4年度

○A B Cの評価については、以下の基準のとおりです。
 A…よく出来ている B…ほぼ出来ている C…努力が必要

第1章 総則

1、教育及び保育の基本と目標

	設問	評価
1	児童福祉法等、保育所に関する法令を読み、その内容を理解していますか。	
2	「保育所保育指針」を読み、その内容を理解していますか。	
3	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解していますか。	

2、特に配慮すべき項目

(1)教育及び保育の配慮

	設問	評価
4	登園時、子どもの健康観察を行っていますか。	
5	子ども一人一人に、分かりやすい温かな言葉で穏やかに話しかけていますか。	
6	登園時、泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまったたりすることがないようにしていますか。	

(2)健康・安全支援

	設問	評価
7	園内で感染症が発生したとき、発生状況や予防対策などを保護者に知らせていますか。	
8	子どもの体調が無くなったときに、保護者と連絡を取ったり、十分に様子を伝えたりするよう心がけていますか。	
9	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか。	
10	園生活での活動・発達の状況や家庭での十分な睡眠や健康的な生活リズムが身につくよう、保護者との連携に努めていますか。	
11	災害時や不審者が園内に侵入した際、どのように対応するのかを理解していますか。また、職員間で連携が取れるように話し合っていますか。	
12	災害時に使用する器具や設備(消火器や通報機器等)などの場所や使用方法を知っていますか。	

(3)食育

	設問	評価
13	子どもが無理なく、楽しく食事ができるように声かけや援助をしていますか。	
14	その日の昼食の食べ具合などを必要に応じて保護者に知らせていますか。	

(4)障がい児保育 ※該当クラス担当のみ回答

	設問	評価
15	障がいのある子どもの保育について、職員間で情報交換や話し合いの機会を持ったり、子どもに合わせた個別支援計画を立てていますか。	
16	療育・医療機関などの専門機関から、必要に応じて助言を求めたり受けたりしていますか。 (保護者を通して含む)	
17	障がいのある子どもの保護者と日常的に話をする機会を設け、情報共有をしたり信頼関係の構築に努めたりしていますか。	

第2章 子どもの発達

	設問	評価
18	子どもの発達は豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか。	
19	子どもの人権や一人一人の個人差を尊重して、保育をしていますか。	
20	子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか。	
21	子どもどうしでお互いの良さを感じ取れるように保育の配慮をしていますか。	
22	園の生活になじみにくい子どもに対して、一人一人に応じた適切な援助及び環境構成を行っていますか。	

第3章 「ねらい」及び「内容」

1、保育内容「健康」

	設問	評価
23	一人一人の子どもが明るくのびのび遊べるよう、いつも見守っていますか。	
24	健康的な生活リズムを身につけるよう、1日の保育の時間配分をしたり、家庭との連携を取ったりしていますか。	
25	食事の前や排せつ後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身につくように保育していますか。	
26	生活に必要な習慣が身につくよう家庭との連携に努めていますか。	

2、保育内容「人間関係」

	設問	評価
27	自分のことは自分でしようとする意欲を持てるよう、励ましたり見守ったりしていますか。また、達成感を味わえるように配慮していますか。	
28	友だちと積極的に関わりながら遊び、喜びや悲しみなどを共感する機会を大切にしていますか。	
29	良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動できるように援助していますか。	

3、保育内容「環境」

	設問	評価
30	子どもが自然に観察したり触れたりする中で、その大きさ、楽しさ、不思議さなどに気づくように援助していますか。	
31	園生活の中で、自然や身近な事象に関心を持つことができるように、環境を工夫していますか。	
32	生活の中で数を数えたり、形を意識したりするなど、工夫して保育していますか。	

4、保育内容「言葉」

	設問	評価
33	子どもの発達や理解力、生活体験に合わせた言葉で保育していますか。	
34	ゆったりと子どもの言葉を聞き応答するなど、子どもが分からないことを尋ねたりしやすい雰囲気作りをしていますか。	
35	挨拶や「貸して」「いいよ」など、生活の中で必要な言葉を知らせ、その言葉を理解して使うことができるように、配慮していますか。	
36	紙芝居や絵本、素話などを通して、物語の楽しさや言葉の面白さに気づくよう心がけていますか。	

5、保育内容「表現」

	設問	評価
37	歌ったり踊ったりして、表現の楽しさに気づくように援助していますか。	
38	感動したことなどを伝え合う機会を作ったり、豊かに表現できるよう援助したりしていますか。	
39	子どもたちが様々な音に触れ合う機会をつくり、音楽に親しみをもち楽しめるように工夫していますか。	
40	自分のイメージを言葉や体の動きなどで表現したり、演じて遊んだりして楽しめる機会を作っていますか。	

第4章 保育の実施上の配慮事項

	設問	評価
41	保育者として服装や身支度などに配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていますか。	
42	発育及び発達の状態をよく把握した上で、常に体の状態を細かく観察していますか。	
43	おむつを交換をする際は、しっかり手洗いを行っていますか。	
44	一人一人の子どもの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、環境を整えていますか。	
45	床に誤飲しそうなものが落ちていないよう、十分注意を払っていますか。	
46	リズムを伴った触れ合い遊びを十分に取り入れたり、戸外遊びなどを通して身体を適度に動かす遊びを楽しめるようにしていますか。	

47	子どもの健康状態の急変に対応できるよう、日頃から看護師や職員間で連携が取れていますか。	
48	基本的な生活習慣の習得については、子ども一人一人の発達過程に合わせ、無理なく行っていますか。	
49	子どもの手の届く範囲にあるものの安全性について、日頃からきちんと確認していますか。	
50	自分でやり遂げる喜びを感じたり、自信を持ったりできるよう、配慮していますか。	
51	進級などで保育者がかわる場合は、子どもが不安にならないように職員間で情報共有を十分にしていますか。	

第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項 ※担任のみ回答

	設問	評価
52	指導計画は、「保育過程」や「全体計画」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に基づいて作成していますか。	
53	指導計画には、保育の期間や子どもの生活経緯、発達の過程などを考慮して具体的なねらいと内容が設定されていますか。	
54	子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画に書き込まれていますか。	
55	入所時期には、生活のリズムや安全性に十分配慮して、指導計画を作成していますか。	
56	子ども一人一人の発達を理解し、指導計画に活かせるよう、日々の保育記録をきちんと取っていますか。	
57	子どもが楽しく食事できるように、食育の計画を作成していますか。	
58	保育の内容は、子どもの発達過程に合った活動や体験であると説明できますか。	

第6章 研修と自己評価

	設問	評価
59	園の保育理念や基本方針をきちんと理解していますか。	
60	自らの判断で、園の内外における研修に積極的に参加したり、本などで情報や知識を得ようとしていたりしていますか。	
61	自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽していますか。	

第7章 子育て支援

	設問	評価
62	子育ての悩み等を安心して話せるように、送迎時に言葉を交わしたり、なかなか会えない保護者に対しては、連絡帳などで情報交換をしたりするようにしていますか。	
63	保護者からの相談内容などをあなた一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか。	
64	地域の家庭を対象とする相談や遊び場の提供など(支援センターや一時保育事業等)、子育て支援のための園の取り組みを理解していますか。	
65	一人一人の子どもについて、處待を見抜くことができるように配慮していますか。	

保育者等の衛生管理チェックリスト

		はい	いいえ
身だしなみ	1. 通勤時・保育時・作業時の服は必ず着替えている	.	.
	2. 髪は顔に覆いかぶらない長さで、長い髪はまとめている	.	.
	3. 手の爪は短く切っている（プール時期は足の爪を気をつける）	.	.
	4. マニキュアは塗っていない	.	.
	5. ピアスやイヤリング、指輪等の装飾品は外している	.	.
	6. 上靴や靴はかかとを踏まずにはいている	.	.
	7. 香水や香りの強い柔軟剤などは使っていない	.	.
清潔	8. 手指は石鹸を使い丁寧に洗っている	.	.
	9. ハンカチやタオルは共用せず、個人用を使用している	.	.
	10. 給間食の配膳時の袖付きエプロン・三角巾・（マスク）は毎日洗濯した清潔なものを正しく着用している	.	.
	11. 食事・間食前の机や配膳台1台につき1枚の台拭きを使用している	.	.
	12. 台拭きや雑巾は、毎日洗剤で洗い、日に干している	.	.
	13. 配膳箱や蓋は床に置かず、専用の台に置いている	.	.
	14. 食器に嘔吐した際は、緊急対応マニュアルに従い正しく処理している	.	.
	15. 下痢・嘔吐の始末は一人の職員が次亜塩素酸ナトリウムで消毒処理し、感染拡大防止に努めている（処理マニュアルを掲示）	.	.
	16. 下痢・嘔吐物の付着した衣類や布団は、洗わずにビニール袋を二重にして処理し、蓋付きの容器に入れ、室外で保管している	.	.
	17. 消毒液や清掃用薬剤等は内容物を明記し、使用後は決めてある保管場所に必ず戻している（子どもの手の届かない場所で保管することが望ましい）	.	.
調乳	18. 調乳室内は常に清潔にし、調乳器具は適正に保管している	.	.
	19. ミルク缶には開封日を記入し、開封後1ヶ月以内に使用している	.	.
	20. 手指は石鹸を使い丁寧に洗淨、消毒をしてから調乳している	.	.
排泄	21. 便座やおむつ交換台、着脱用ベンチ等は一人の使用ごとに消毒している	.	.
	22. 感染症発生時は、ドアノブや水栓レバー、水道の蛇口等、複数の子どもが触れる箇所は特に気をつけて消毒している	.	.
	23. おむつ交換時には使い捨て手袋を使用している	.	.
	24. 排便後のおむつ、特に下痢便の時はビニール袋を二重にして処理し、蓋付きの容器に個別で保管し、菌が移らないようにしている	.	.
	25. 使用後のおむつを処理した後は、必ず手洗い、消毒をして次の作業をしている	.	.

※上記内容について各自でチェックし、安全衛生について日々の業務を遂行しましょう。

また、職員間でお互いに意識を高めあいましょう。

資料：姫路市

人権感覚自己点検チェックリスト

	はい	いいえ
1. 一人一人（子ども、保護者、職員）に分けへだてなく、笑顔であいさつしていますか。	・	・
2. 一人一人（子ども、保護者、職員）に分けへだてなく、語りかけていますか。	・	・
3. 一人一人（子ども、保護者、職員）が愛されていると感じられるように接していますか。	・	・
4. 遅く登所した子どもや忘れ物をした子どもに傷つけるような言葉を使っていませんか。	・	・
5. 子どもの欠席状況や健康状態にいつも気を配っていますか。	・	・
6. 子どもの名前を大切にした呼び方をしていますか。	・	・
7. 子どもに注意をする時、体罰や暴言等（心身の苦痛）を加えていませんか。	・	・
8. 問題行動を起こす子どもに対して、その原因や背景を知ろうと努力していますか。	・	・
9. 人と比較したり、優劣をつけた見方をしたりしていませんか。	・	・
10. 嫌がらせや暴力、仲間はずれなどを見逃さず自分達の問題として取り上げていますか。	・	・
11. 「悪いことをするのは、いつも〇〇だ」と固定的、断定的に見ていませんか。	・	・
12. 「どうしてあなたはできないの」とさげすんだ言い方をしていませんか。	・	・
13. 「ここはたいへんな保育所、こども園、クラス」などと、偏った見方をしていませんか。	・	・
14. 相手により接遇態度を変えていませんか。	・	・
15. 個人の問題を全体に広げて悪く言っていませんか。	・	・
16. 障がい者や外国人に対して特別視をしていませんか。	・	・
17. 「男のくせに〇〇だ」「女のくせに〇〇だ」というような見方をしていませんか。	・	・
18. 家柄、先祖、出身（地）、職業、学歴、迷信などにこだわりをもっていませんか。	・	・
19. 子どもや保護者を尊重した話し方をしていますか。	・	・
20. 問題が生じた場合、職員間でその原因や対策の仕方などが真剣に話し合われていますか。	・	・